

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

2025年4月30日（水）

田中ナースリー若宮保育園

## 1・活動のテーマ

《テーマ》 多文化理解を軸にした探究活動

## 2・テーマの設定理由

- ① 子どもたちに異文化への興味や寛容性、他者尊重の心を育む。
- ② 活動を通して、自分の身近なものを入り口に世界に興味を広げていってほしい。

## 3・活動のスケジュール

活動時間：

- 2025年4月30日（水）13：00～14：00
- 場所：ひろば

活動内容と流れ：

時間	活動
13：00～13：15（15）	先週の振り返り： <ul style="list-style-type: none"><li>・先週の内容について思い出す。</li><li>・中国語でもう一度挨拶してみよう。</li><li>・もう一度絵本の読み聞かせをする。</li></ul>
13：15～14：00（45）  （環境設定） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">ワイドボード</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"><div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></div><div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></div></div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"><div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></div><div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></div></div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"><div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></div><div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></div></div>	制作活動： <ul style="list-style-type: none"><li>・子どもたちに台湾と中国語についての感想を聞き、色と線で表現してみたら、どんな感じ？</li><li>・一人ずつ感想について聞く。</li><li>・子どもたちに一人一枚のコピー用紙を配って、色鉛筆で台湾についてのイメージを色や模様（線や点）で描く。2</li><li>・描き終わったら、グループごとに自分の絵を持って、友達に見せながらなんでそう思うのも試してみる。</li><li>・絵を見る子どもたちは、お友達の絵について、いいと思う所を言ってみる。</li></ul>

#### 4. 活動の為に準備するもの

- 絵本：一冊
- 画用紙：15枚
- お絵描きの道具

#### 5. 探究活動の実践

ひろばを使って、活動をした。最初先週の振り返りについて、思い出してもらった。その後、あいさつカードを使ってクイズで子どもたちと中国語であいさつしてみた。その後、台湾の絵本をもう一度読み聞かして、子どもたちの感想を聞いた。

制作活動に入る前に子どもたちに「台湾はどんな色と模様と思う？」という質問をして、「赤、青、黄色、黒」とかの答えをもらった。子どもたちに自由に台湾を描いてもらって、25分で自分にとって、台湾のイメージ図を完成した。

台湾のイメージ図が出来てからみんなの前で立って、自分の作品の好きなところをお友達に教えた。その後、先生が子どもたちの作品の良い所も伝わった。

#### 6. 活動の様子（写真など）



##### 1. あいさつカードでクイズをする

ワイドボードに平仮名で書いた日本語と中国語のカードを貼って、子どもたちにクイズをした。  
先生：皆さん、先週学んだ中国語の「こんにちは」はどうやって言いますか？皆さんはまだ覚えていますか？

子ども1：（手を挙げながら言う）ジェジェ！

先生：惜しい、もう一回当たってみて。

子ども2：はい、はい！（手を挙げながら言う）  
にーはお！



##### 2. 子どもたちが自分の考えを積極的に答える

先生：これから、台湾のイメージ図をみんなで一緒に完成したいと思います。中国語をきいて、また台湾の絵本を読んで、皆さんはどんな色や模様とっていますか？

子ども1：はい、はい、赤。

子ども2：黒！

子ども3：黄緑！

子ども4：オレンジ！



3, 子どもたちが自分の制作活動に集中する姿が見える

先生：何を描きましたか？

子ども1：どこでもドアだよ！そうすることで台湾へ行ける！

先生：素敵なアイデアですね、先生もどこでもドアが欲しくてそれを使って台湾へ帰りたいですね。



4, 子どもたちの作品は発表した後、みんなが見えるところに展示されている。

子どもたちの発想がそれぞれ、主体性を持って自分の考えを素直で書きました。例えば、台湾の上に日本を描いたり、台湾の下にベトナムを描いたり子どもたちがいた。また、海の中に海洋生物（サメ、クジラとか）を描いた子どもたちもいた。

#### 7・振り返り（気づきなど）

- あいさつカードの効果がよくて、子どもたちはクイズに興味を持っている姿が見えた。
- 自分の考えや感想を言うのが好きなようで、これからも会話的な活動を設計していきたいと考える。
- 台湾のイメージ図の塗り絵の効果がよくて、子どもたちは自由に発想ができ、自分らしさの作品を描いた。子どもたちが制作活動に対して、積極的な姿が見えた。
- 子どもたちがみんなの前に自分の作品を発表するのは、まだ慣れていないため、恥ずかしいと思った子どもや友達の話を聞かない姿が見えたが、これからも多く機会を作って子どもたちが慣れるように取り込んでいきたいと考える。
- もっとよくなる点：
  - 制作活動を行う直前に、クーピーやペンを渡すことで集中して話を聞くことができるまたは参加できる。
  - 子どもたちがお友達の話聞く事ができるよう、工夫していきたいと思う。